



‘栄研’

# News Release

2025年7月8日

各 位

会 社 名 栄研化学株式会社  
代 表 者 名 代表執行役社長 瀬川雄司  
コード番号 4549 東証プライム

## FTSE Blossom Japan Index 構成銘柄に初選定

～FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexにおいても3年継続選定～

栄研化学株式会社（本社：東京都台東区）は、この度、ESG投資の主要指標として、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定されましたのでお知らせいたします。また、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」においても、3年連続で選定されました。

当社グループは、「ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります。」の経営理念のもと、サステナビリティ方針に基づき、ESGの取り組みを強化してまいりました。今回の選定により、今後も、世界の人々の健康を守る企業として、事業活動を通じて、「医療」・「環境」・「社会」・「ガバナンス」の課題に積極的に取り組むことによりステークホルダーの皆様への責任を果たし、企業価値の向上、ひいては持続可能な社会の実現を目指してまいります。

### 【FTSE Blossom Japan Indexについて】

FTSE Blossom Japan Indexはグローバル インデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Russellの評価はコーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野について行われており、FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしています。

### 【FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexについて】

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築されたFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexは、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、Transition Pathway Initiative(TPI)経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の詳細については、以下をご参照ください。

<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan#t-index-resources>

<参考>

栄研グループのサステナビリティ：<https://www.eiken.co.jp/sustainability/>

ESGデータ集：[https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg\\_data/](https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg_data/)

【本件に関するお問い合わせ先】

栄研化学株式会社 サステナビリティ推進部

TEL: 03(5846)3379 、e-mail: koho@eiken.co.jp

ホームページ <https://www.eiken.co.jp>